

令和 5 年度

復興庁 省庁別財務書類

〔留意事項〕

- ・ 本財務書類は、「省庁別財務書類の作成基準」に基づいて作成しております。
- ・ 省庁別財務書類は、各省庁における財務情報の提供等を目的として一般会計を各省庁単位で区分し、所管の特別会計を合算し、各省庁に資産や負債が帰属すると擬制するなどの一定の仮定に基づいて作成するものであり、各省庁が会計的に独立しているものではない点にご留意下さい。
- ・ 省庁別財務書類を充分理解して頂くため、「省庁別財務書類の作成基準」及び各省庁の所掌する業務内容等も併せてご覧下さい。

貸 借 対 照 表

(単位 : 百万円)

	前会計年度 (令和 5年 3月31日)	本会計年度 (令和 6年 3月31日)		前会計年度 (令和 5年 3月31日)	本会計年度 (令和 6年 3月31日)
< 資産の部 >			< 負債の部 >		
現金・預金	219,540	157,301	未払金	667	361
未収金	57	0	賞与引当金	180	188
前払費用	0	0	退職給付引当金	1,870	1,907
その他の債権等	1,699	1,715	その他の債務等	-	42
有形固定資産	40	358			
国有財産(公共用 財産を除く)	-	276			
土地	-	276			
物品	40	81	負債合計	2,719	2,500
無形固定資産	268	1	< 資産・負債差額の部 >		
出資金	-	102	資産・負債差額	218,888	156,979
資産合計	221,607	159,479	負債及び資産・ 負債差額合計	221,607	159,479

業務費用計算書

(単位：百万円)

	前会計年度 (自 令和 4年 4月 1日) (至 令和 5年 3月31日)	本会計年度 (自 令和 5年 4月 1日) (至 令和 6年 3月31日)
人件費	2,032	2,064
賞与引当金繰入額	180	188
退職給付引当金繰入額	154	144
補助金等	6,547	8,466
委託費等	5,489	4,581
庁費等	3,519	3,678
その他の経費	130	120
減価償却費	11	21
支払利息	-	1
資産処分損益	0	△ 0
本年度業務費用合計	18,067	19,267

資産・負債差額増減計算書

(単位：百万円)

	前会計年度 (自 令和 4年 4月 1日) (至 令和 5年 3月31日)	本会計年度 (自 令和 5年 4月 1日) (至 令和 6年 3月31日)
I 前年度末資産・負債差額	315,875	218,888
II 本年度業務費用合計	△ 18,067	△ 19,267
III 財源	△ 78,946	△ 42,260
配賦財源	△ 79,621	△ 42,715
自己収入	674	454
IV 無償所管換等	27	△ 243
V 資産評価差額	-	△ 138
VI 本年度末資産・負債差額	218,888	156,979

区分別収支計算書

(単位：百万円)

	前会計年度 (自 令和 4年 4月 1日) (至 令和 5年 3月31日)	本会計年度 (自 令和 5年 4月 1日) (至 令和 6年 3月31日)
I 業務収支		
1 財源		
配賦財源	△ 79,621	△ 42,715
自己収入	617	511
前年度剰余金受入	317,215	219,540
財源合計	238,211	177,337
2 業務支出		
(1)業務支出(施設整備支出を除く)		
人件費	△ 2,230	△ 2,266
補助金等	△ 6,918	△ 8,755
委託費等	△ 5,489	△ 4,581
出資による支出	-	△ 100
庁費等の支出	△ 3,901	△ 3,786
その他の支出	△ 130	△ 120
業務支出(施設整備支出を除く)合計	△ 18,670	△ 19,610
(2)施設整備支出		
土地に係る支出	-	△ 417
施設整備支出合計	-	△ 417
業務支出合計	△ 18,670	△ 20,027
業務収支	219,540	157,310
II 財務収支		
リース債務の返済による支出	-	△ 7
利息の支払額	-	△ 1
財務収支	-	△ 8
本年度収支	219,540	157,301
翌年度歳入繰入	219,540	157,301
本年度末現金・預金残高	219,540	157,301

注 記

1 重要な会計方針

(1) 減価償却の方法等

① 有形固定資産

物品については、「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」に定める耐用年数に基づく、残存価額を取得原価の10%とした定額法によっている。なお、残存価額まで到達している物品については、耐用年数を経過した翌会計年度から5年間で備忘価格1円まで均等償却を行っている。

ファイナンス・リース取引に伴うリース物件については、取得価額相当額を資産計上し、リース期間満了後の残存価額をゼロとした定額法によっている。

② 無形固定資産

ソフトウェアについては、取得に要した費用を資産価額とし、利用可能期間（5年）に基づく定額法によっている。

(2) 出資金の評価基準及び評価方法

市場価格のないもの

全て「国有財産法」の規定により政府出資等として管理されている出資金であり、会計年度末における国有財産台帳価格によって評価している。

(3) 引当金の計上基準及び算定方法

① 賞与引当金

6月支給分の期末手当及び勤勉手当の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分（期末手当及び勤勉手当の6月支給分の4/6）を計上している。

② 退職給付引当金

退職手当に係る退職給付引当金については、自己都合による期末要支給額を、次の計算方法により計上している。

・基本額 … 勤続年数別の職員数 × 平均給与 × 自己都合退職手当支給率

・調整額 … 「国家公務員退職手当法」第6条の4に定められた区分別の職員数 × 想定される調整月額単価 × 60ヶ月

(4) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 翌年度以降支出予定額

(1) 歳出予算の繰越し

歳出予算の繰越しに係る翌年度の支出予定額 13百万円

(2) 国庫債務負担行為

国庫債務負担行為による翌年度以降に係る支出予定額 125百万円

3 追加情報

(1) 出納整理期間

出納整理期間が設けられており、出納整理期間中の現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としている。

(2) 表示科目の説明

① 貸借対照表

ア 資産の部

- ・「現金・預金」には、日本銀行預金を計上している。
- ・「未収金」には、返納金債権を計上している。
- ・「前払費用」には、翌年度以降分の自賠責保険の前払保険料を計上している。
- ・「その他の債権等」には、東日本大震災復興特別会計において計上している退職給付引当金のうち一般会計が負担する退職給付引当金相当額を計上している。
- ・「国有財産（公共用財産を除く）」には、国有財産台帳価格を計上している。
- ・「土地」には、福島国際研究教育機構に係る用地を計上している。
- ・「物品」には、取得価格（見積価格）が50万円以上の物品及びファイナンス・リース取引に伴うリース物件について、取得価格（見積価格）から減価償却費相当額を控除した後の価額で計上している。
- ・「無形固定資産」には、電話加入権について、取得価格で計上している。
- ・「出資金」には、国有財産として管理されている政府出資のうち、政策目的をもって保有しているものを計上している。

イ 負債の部

- ・「未払金」には、利子補給金、消費税等及び児童手当に係る未払額を計上している。
- ・「賞与引当金」には、6月支給の期末手当及び勤勉手当に係る本会計年度分を計上している。
- ・「退職給付引当金」には、退職手当に係る引当金を計上している。
- ・「その他の債務等」には、ファイナンス・リース取引に伴うリース債務額を計上している。

② 業務費用計算書

- ・「人件費」には、決算書の用途別分類が「人件費」に該当するもののうち職員等に係るもの（職員の手当及び非常勤職員の手当等）及び決算書の用途別分類が「補助費・委託費」に該当するもののうち国家公務員共済組合負担金として支出した額に、児童手当の未払金や退職手当及び賞与に関する引当金の発生主義による調整を行ったものを計上している。
- ・「賞与引当金繰入額」には、6月支給の期末手当及び勤勉手当の支給見込額のうち当該年度に帰属する部分を計上している。
- ・「退職給付引当金繰入額」には、退職給付引当金への繰入額を計上している。
- ・「補助金等」には、決算書の用途別分類が「補助費・委託費」に該当するもののうち、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」第2条第1項で規定する補助金等に該当するものを計上している。
- ・「委託費等」には、委託費を計上している。
- ・「庁費等」には、決算書の用途別分類が「物件費」に該当するもののうち、他の科目で計上されていないものであって、資産計上されていないものを計上している。
- ・「その他の経費」には、決算書の用途別分類が「旅費」及び「その他」に該当するもの並びに単独の科目で表示するには金額の少ないもの等を計上している。
- ・「減価償却費」には、有形固定資産に係る減価償却費を計上している。
- ・「支払利息」には、ファイナンス・リース取引に関して発生した利息を計上している。
- ・「資産処分損益」には、有形固定資産の処分による除売却損益を計上している。

③ 資産・負債差額増減計算書

- ・「前年度末資産・負債差額」には、前年度の貸借対照表の「資産・負債差額」の額を計上している。
- ・「本年度業務費用合計」には、業務費用計算書の「本年度業務費用合計」の額を計上している。
- ・「配賦財源」には、共管官庁別の支出済歳出額と共管官庁別の収納済歳入額との差額を計上している。
- ・「自己収入」には、雑収入を計上している。
- ・「無償所管換等」には、福島国際研究教育機構への物品及びソフトウェアの引渡、並びに定員変動に

よる退職給付引当金及び賞与引当金の引継等に伴う資産・負債差額の増減、過年度の退職給付引当金についての誤謬修正による負債差額を計上している。

- ・「資産評価差額」には、出資金の評価差額（強制評価減に係るものを除く）及び国有財産の台帳価格の改定に伴う評価差額を計上している。
- ・「本年度末資産・負債差額」には、本年度の貸借対照表の「資産・負債差額」の額を計上している。

④ 区分別収支計算書

ア 業務収支

- ・「配賦財源」には、共管官庁別の支出済歳出額と共管官庁別の収納済歳入額との差額を計上している。
- ・「自己収入」には、雑収入を計上している。
- ・「前年度剰余金受入」には、前年度剰余金を計上している。
- ・「人件費」には、決算書の使途別分類が「人件費」に該当するもののうち職員等に係るもの（職員の手当及び非常勤職員の手当等）及び決算書の使途別分類が「補助費・委託費」に該当するもののうち国家公務員共済組合負担金として支出した額を計上している。
- ・「補助金等」には、決算書の使途別分類が「補助費・委託費」に該当するもののうち、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」第2条第1項で規定する補助金等に該当する支出額を計上している。
- ・「委託費等」には、委託費を計上している。
- ・「出資による支出」には、福島国際研究教育機構への出資に係る支出を計上している。
- ・「庁費等の支出」には、決算書の使途別分類が「物件費」に該当するもののうち、施設整備支出に計上されないものを計上している。
- ・「その他の支出」には、決算書の使途別分類が「旅費」及び「その他」に該当する支出並びに単独の科目で表示するには金額の少ないもの等を計上している。
- ・「土地に係る支出」には、福島国際研究教育機構用地の土地の取得に係る支出を計上している。
- ・「業務収支」には、財源合計から業務支出合計を控除した額を計上している。

イ 財務収支

- ・「リース債務の返済による支出」には、リース債務の返済に係る支出を計上している。
- ・「利息の支払額」には、ファイナンス・リース取引に関して発生した利息に係る支出を計上している。

ウ 本年度収支以下の区分

- ・「本年度収支」には、業務収支と財務収支を合計した額を計上している。
- ・「翌年度歳入繰入」には、「本年度収支」を計上している。
- ・「本年度末現金・預金残高」には、「翌年度歳入繰入」を計上している。計上額は、貸借対照表の「現金・預金」と一致する。

(3) その他省庁の内容を理解するために特に必要と考えられる情報

- ① 百万円未満切り捨てのため、合計が一致しないことがある。
- ② 百万円未満の計数がある場合には「0」で表示し、該当計数が皆無の場合には「-」で表示している。
- ③ 重要な会計処理の誤謬の修正

前会計年度の貸借対照表における「退職給付引当金」の計上に誤りがあったため、本会計年度において修正を行っている。この修正により、本会計年度の貸借対照表において、「退職給付引当金」が1百万円減少し、資産・負債差額増減計算書において、「無償所管換」が1百万円増加している。

附属明細書

1 貸借対照表の内容に関する明細

(1) 資産項目の明細

① 現金・預金の明細

(単位：百万円)

内容	本年度末残高
政府預金（日本銀行預金）	157,301
合計	157,301

② 未収金の明細

(単位：百万円)

内容	相手先	本年度末残高
返納金債権	個人	0
合計		0

③ その他の債権等の明細

(単位：百万円)

債権の種類	相手先	本年度末残高	債権の内容等
会計検査院一般会計が負担する退職給付引当金相当額	会計検査院一般会計	5	東日本大震災復興特別会計において計上している退職給付引当金のうち、会計検査院一般会計が負担する退職給付引当金相当額
内閣一般会計が負担する退職給付引当金相当額	内閣一般会計	38	東日本大震災復興特別会計において計上している退職給付引当金のうち、内閣一般会計が負担する退職給付引当金相当額
内閣府一般会計が負担する退職給付引当金相当額	内閣府一般会計	155	東日本大震災復興特別会計において計上している退職給付引当金のうち、内閣府一般会計が負担する退職給付引当金相当額
総務省一般会計が負担する退職給付引当金相当額	総務省一般会計	187	東日本大震災復興特別会計において計上している退職給付引当金のうち、総務省一般会計が負担する退職給付引当金相当額
法務省一般会計が負担する退職給付引当金相当額	法務省一般会計	9	東日本大震災復興特別会計において計上している退職給付引当金のうち、法務省一般会計が負担する退職給付引当金相当額
外務省一般会計が負担する退職給付引当金相当額	外務省一般会計	16	東日本大震災復興特別会計において計上している退職給付引当金のうち、外務省一般会計が負担する退職給付引当金相当額
財務省一般会計が負担する退職給付引当金相当額	財務省一般会計	169	東日本大震災復興特別会計において計上している退職給付引当金のうち、財務省一般会計が負担する退職給付引当金相当額
文部科学省一般会計が負担する退職給付引当金相当額	文部科学省一般会計	77	東日本大震災復興特別会計において計上している退職給付引当金のうち、文部科学省一般会計が負担する退職給付引当金相当額
厚生労働省一般会計が負担する退職給付引当金相当額	厚生労働省一般会計	169	東日本大震災復興特別会計において計上している退職給付引当金のうち、厚生労働省一般会計が負担する退職給付引当金相当額
農林水産省一般会計が負担する退職給付引当金相当額	農林水産省一般会計	266	東日本大震災復興特別会計において計上している退職給付引当金のうち、農林水産省一般会計が負担する退職給付引当金相当額
経済産業省一般会計が負担する退職給付引当金相当額	経済産業省一般会計	183	東日本大震災復興特別会計において計上している退職給付引当金のうち、経済産業省一般会計が負担する退職給付引当金相当額
国土交通省一般会計が負担する退職給付引当金相当額	国土交通省一般会計	424	東日本大震災復興特別会計において計上している退職給付引当金のうち、国土交通省一般会計が負担する退職給付引当金相当額
環境省一般会計が負担する退職給付引当金相当額	環境省一般会計	6	東日本大震災復興特別会計において計上している退職給付引当金のうち、環境省一般会計が負担する退職給付引当金相当額
防衛省一般会計が負担する退職給付引当金相当額	防衛省一般会計	6	東日本大震災復興特別会計において計上している退職給付引当金のうち、防衛省一般会計が負担する退職給付引当金相当額
合計		1,715	

④ 固定資産の明細

(単位：百万円)

区分	前年度末残高	本年度増加額	本年度減少額	本年度減価償却額	評価差額 (本年度発生分)	本年度末残高
(有形固定資産)						
国有財産(公共用財産を除く)	-	417	-	-	△ 140	276
行政財産	-	417	-	-	△ 140	276
土地	-	417	-	-	△ 140	276
物品	40	68	5	21	-	81
物品	40	17	5	11	-	42
リース物件	-	50	-	10	-	39
小計	40	485	5	21	△ 140	358
(無形固定資産)						
電話加入権	1	-	-	-	-	1
ソフトウェア	267	-	267	-	-	-
小計	268	-	267	-	-	1
合計	309	485	272	21	△ 140	359

⑤ 出資金の明細

ア 出資金の増減の明細

(単位：百万円)

法人名等	前年度末残高	評価差額の戻入	本年度増加額	本年度減少額	評価差額(本年度発生分)	強制評価減	本年度末残高
○特殊法人							
福島国際研究教育機構	-	-	100	-	2	-	102
合計	-	-	100	-	2	-	102

イ 市場価格のない出資金の純資産額等の明細

(単位：百万円)

出資先	資産(A)	負債(B)	純資産額(C=A-B)	資本金(D)	特別会計からの出資累計額(E)	出資割合(F=E/D) %	純資産額による算出額(G=C×F)	貸借対照表計上額(国有財産台帳価格)	使用財務諸表
○特殊法人									
福島国際研究教育機構	5,798	5,696	102	100	100	100.00%	102	102	法定財務諸表
合計	5,798	5,696	102	100	100		102	102	

(2) 負債項目の明細

① 未払金の明細

(単位：百万円)

内容	相手先	本年度末残高
復興特区支援利子補給金	民間団体	350
消費税等	税務署	9
2・3月分児童手当	職員	1
合計		361

② 退職給付引当金の明細

(単位：百万円)

区分	前年度末残高	本年度取崩額	本年度増加額	本年度末残高
退職手当に係る引当金	1,870	315	352	1,907
合計	1,870	315	352	1,907

(注) 退職手当に係る引当金の本年度増加額352百万円のうち、207百万円は、一般会計から東日本大震災復興特別会計に職員が異動したことによる増加額であり、本年度取崩額315百万円のうち、221百万円は、東日本大震災復興特別会計から一般会計等に職員が異動したことによる減少額である。

③ その他の債務等の明細

(単位：百万円)

債務の種類	相手先	本年度末残高
リース債務	民間法人	42
合計		42

2 業務費用計算書の内容に関する明細

(1) 補助金等の明細

(単位：百万円)

名称	相手先	金額	支出目的
＜補助金＞			
福島再生加速化交付金	地方公共団体	3,783	原子力災害からの復興を図るため行う福島再生加速化事業に要する経費に充てるための地方公共団体に対する交付金
被災者支援総合交付金	地方公共団体等	3,112	避難生活の長期化や災害公営住宅への移転など、復興の進展によって生じる課題に対応するための被災者支援の取組み（住宅・生活再建にかかる相談やコミュニティ形成支援等）を一体的に支援するために必要な経費に対する補助
新産業創出等研究開発推進事業費補助金	福島国際研究教育機構	1,502	福島国際研究教育機構が行う新産業創出等研究開発等業務に要する費用の補助
復興特区支援利子補給金	民間団体	67	「東日本大震災復興特別区域法」第44条に規定する復興特区支援貸付事業を行う金融機関が、認定復興推進計画に定められた事業を行うのに必要な資金の貸付けについての利子補給金
合計		8,466	

(2) 委託費等の明細

(単位：百万円)

名称	相手先	金額	支出目的
福島生活環境整備・帰還再生加速事業委託費	地方公共団体	4,581	「福島復興再生特別措置法」第17条に基づき住民の生活環境の改善に資するため、国から避難指示に起因して機能低下した公共施設・公益的施設について、市町村から要請に基づき機能回復を行うための委託費
合計		4,581	

3 資産・負債差額増減計算書の内容に関する明細

(1) 財源の明細

① 他省庁への財源の配賦の明細

(単位：百万円)

	支出済歳出額(A)	収納済歳入額(B)	差引額(B-A)
内閣	20	5	△ 15
内閣府	8,228	1,226	△ 7,002
総務省	62,446	-	△ 62,446
法務省	70	0	△ 69
財務省	188,043	473,129	285,086
文部科学省	14,119	6,983	△ 7,135
厚生労働省	12,150	500	△ 11,649
農林水産省	61,872	4,891	△ 56,981
経済産業省	37,396	587	△ 36,808
国土交通省	50,092	2,866	△ 47,225
環境省	249,708	151,241	△ 98,467
防衛省	-	0	0
合計	684,149	641,434	△ 42,715

(注) 本明細は、東日本大震災復興特別会計において、復興庁が共管官庁に配賦した財源である。

② 特別会計の財源の明細

(単位：百万円)

特別会計	区分	財務内容	金額
東日本大震災復興特別会計	自己収入	その他の財源	454
合計			454

(2) 無償所管換等の明細

(単位：百万円)

区分	相手先	金額	資産等の内容	所管換等の理由	備考
財産の無償所管換等 (受)	内閣府一般会計	△ 2	賞与引当金	定員変動に伴う所管換	
	総務省一般会計	△ 1	賞与引当金	定員変動に伴う所管換	
	財務省一般会計	△ 0	賞与引当金	定員変動に伴う所管換	
	文部科学省一般会計	△ 0	賞与引当金	定員変動に伴う所管換	
	厚生労働省一般会計	△ 1	賞与引当金	定員変動に伴う所管換	
	農林水産省一般会計	△ 0	賞与引当金	定員変動に伴う所管換	
	経済産業省一般会計	△ 0	賞与引当金	定員変動に伴う所管換	
	国土交通省一般会計	△ 3	賞与引当金	定員変動に伴う所管換	
	環境省一般会計	△ 0	賞与引当金	定員変動に伴う所管換	
	小計	△ 11			
財産の無償所管換等 (渡)	内閣府一般会計	1	賞与引当金	定員変動に伴う所管換	
	総務省一般会計	0	賞与引当金	定員変動に伴う所管換	
	財務省一般会計	0	賞与引当金	定員変動に伴う所管換	
	文部科学省一般会計	1	賞与引当金	定員変動に伴う所管換	
	厚生労働省一般会計	1	賞与引当金	定員変動に伴う所管換	
	農林水産省一般会計	0	賞与引当金	定員変動に伴う所管換	
	経済産業省一般会計	0	賞与引当金	定員変動に伴う所管換	
	国土交通省一般会計	2	賞与引当金	定員変動に伴う所管換	
	環境省一般会計	0	賞与引当金	定員変動に伴う所管換	
	内閣府一般会計	8	退職給付引当金	定員変動に伴う所管換	
	総務省一般会計	1	退職給付引当金	定員変動に伴う所管換	
	財務省一般会計	△ 4	退職給付引当金	定員変動に伴う所管換	
	文部科学省一般会計	7	退職給付引当金	定員変動に伴う所管換	
	農林水産省一般会計	12	退職給付引当金	定員変動に伴う所管換	
	経済産業省一般会計	△ 1	退職給付引当金	定員変動に伴う所管換	
	国土交通省一般会計	4	退職給付引当金	定員変動に伴う所管換	
	環境省一般会計	△ 0	退職給付引当金	定員変動に伴う所管換	
	防衛省一般会計	0	退職給付引当金	定員変動に伴う所管換	
	福島国際研究教育機構	△ 5	物品	連結対象法人設立に伴う引渡	
	福島国際研究教育機構	△ 267	ソフトウェア	連結対象法人設立に伴う引渡	
小計	△ 233				
誤謬修正			1	退職給付引当金	誤謬修正による増
	小計		1		
合計		△ 243			

(3) 資産評価差額の明細

(単位：百万円)

区分	評価差額の戻入	本年度発生額	本年度増減額	評価差額の発生原因
有形固定資産				
国有財産（公共用財産を除く）	-	△ 140	△ 140	
行政財産	-	△ 140	△ 140	
土地	-	△ 140	△ 140	国有財産台帳の価格改定に伴う評価差額
出資金	-	2	2	
（市場価格のないもの）	-	2	2	国有財産台帳の価格改定に伴う評価差額
合計	-	△ 138	△ 138	

4 区分別収支計算書の内容に関する明細

(1) 財源の配賦

① 他省庁への財源の配賦の明細

(単位：百万円)

	支出済歳出額(A)	収納済歳入額(B)	差引額(B-A)
内閣	20	5	△ 15
内閣府	8,228	1,226	△ 7,002
総務省	62,446	-	△ 62,446
法務省	70	0	△ 69
財務省	188,043	473,129	285,086
文部科学省	14,119	6,983	△ 7,135
厚生労働省	12,150	500	△ 11,649
農林水産省	61,872	4,891	△ 56,981
経済産業省	37,396	587	△ 36,808
国土交通省	50,092	2,866	△ 47,225
環境省	249,708	151,241	△ 98,467
防衛省	-	0	0
合計	684,149	641,434	△ 42,715

(注) 本明細は、東日本大震災復興特別会計において、復興庁が共管官庁に配賦した財源である。

② 特別会計の収入の明細

(単位：百万円)

特別会計	区分	財務内容	金額
東日本大震災復興特別会計	自己収入	その他の収入	511
合計			511

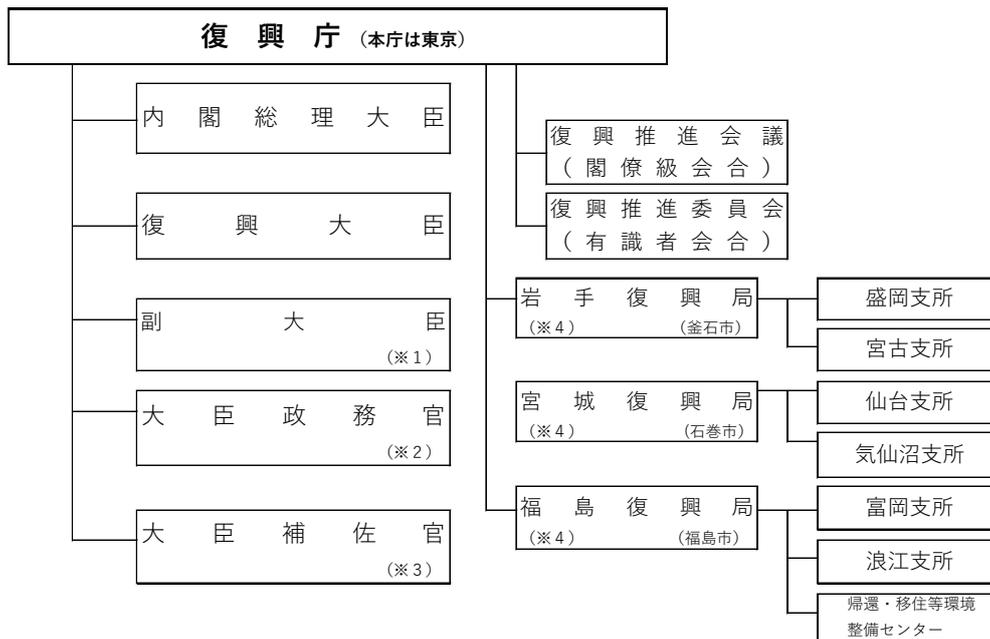
参考情報

1 復興庁の所掌する業務の概要

- (1) 東日本大震災復興基本法（平成 23 年法律第 76 号）第 2 条の基本理念にのっとり、東日本大震災（平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震及びこれに伴う原子力発電所の事故による災害をいう。以下同じ。）からの復興に関する内閣の事務を内閣官房とともに助けること。
- (2) 東日本大震災復興基本法第 2 条の基本理念にのっとり、主体的かつ一体的に行うべき東日本大震災からの復興に関する行政事務の円滑かつ迅速な遂行を図ること。

2 復興庁の組織及び定員

(1) 組織図（令和 5 年度末現在）



※1 復興庁に副大臣2人を置くほか、他の府省の副大臣の職を占める者をもって充てられる副大臣を置くことができる。
※2 復興庁に大臣政務官を置くことができる。大臣政務官は、他の府省の大臣政務官の職を占める者をもって充てる。
※3 復興庁に特に必要がある場合においては、大臣補佐官を1人置くことができる。
※4 副大臣又は大臣政務官が各復興局を担当する。

(2) 定員（令和 5 年度予算定員）

一般会計の予算定員は措置されていない。東日本大震災復興特別会計の予算定員は 221 名である。

3 令和 5 年度歳入歳出決算の概要

収納済歳入額：2,200 億円
支出済歳出額：200 億円
剰余金：2,000 億円

4 公債関連情報

一般会計の公債の発行・管理は財務省の所掌する業務であるため、公債及び利払費等については財務省に計上されている。しかし、各省庁の業務実施の財源の一部は公債で調達されていることから、各省庁の負担と考えられる公債関連の計数を複数の仮定計算に基づき算定し、公債関連情報として開示している。仮定計算に基づく数字であるため、各省庁の省庁別財務書類に負債計上するものではない。

① 財務省において計上されている会計年度末の公債残高、当該年度に発行した公債額（借換債を除く。）及び当該年度の利払費は以下のとおりである。

・ 会計年度末の公債残高	<u>10,259,161 億円</u>
・ 当該年度に発行した公債額	<u>349,979 億円</u>
・ 当該年度の利払費	<u>61,816 億円</u>

② 財務省において計上されている①の計数を公債発行対象経費及び歳出決算額の累計額等を基礎として各省庁に配分を行った場合、当省に配分される額は以下のとおりである。

・ 会計年度末の公債残高のうち当省配分額	<u>4,767 億円</u>
・ 当該年度に発行した公債額のうち当省配分額	<u>- 億円</u>
・ 当該年度の利払費のうち当省配分額	<u>29 億円</u>